

厚生労働科学研究費補助金 「化学物質リスク研究事業」について

厚生労働省医薬食品局審査管理課
化学物質安全対策室

化学物質リスク研究事業 ～ ヒトの健康と安全確保に向けた課題解決のための研究 ～		
課題	研究課題の概要	具体的研究内容(例)
多くの化学物質の有害性評価が未実施	○化学物質の評価手法の迅速化、高度化、標準化に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> トキシコゲノミクス、(定量的)構造活性相関((Q)SAR)等の開発研究 毒性発現の解明・予測に関する研究 OECDテストガイドラインプログラムに資する研究
生活環境中の化学物質のリスクが不明	○室内空気汚染や毒劇物・家庭用品の安全対策に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用品中の化学物質の経気道的または経皮的曝露の評価手法の開発研究 家庭用化学製品のリスク管理に関する調査研究
脆弱層への影響における有害性評価手法の実用化	<ul style="list-style-type: none"> ○化学物質の子供への健康影響に関する研究 ○化学物質の情動・認知行動影響の毒性学的評価に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> 胎児期・新生児期化学物質曝露による毒性評価 内分泌攪乱物質の生体影響メカニズム研究(OECDプログラム関連) 情動・認知機能に関する毒性評価
ナノマテリアル等新素材の評価法が未確立	○ナノマテリアルのヒト健康影響の評価方法に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 有害性評価および体内動態評価に関する基盤研究 経皮毒性に関する評価手法の開発 経気道毒性に関する評価手法の開発

研究成果の発信/社会還元に関する取り組み

- ・化学物質の安全性情報収集に活用
- ・有害性/リスク評価における行政施策の科学的基盤
- ・OECDガイドラインプログラムへの新規提案
- ・研究成果のWeb公表
 - 国立保健医療科学院-厚生労働科学研究成果DB
 - <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>
- ・化学物質リスク研究推進事業シンポジウム
 - 19年度 化学物質と健康
 - 20年度 健康と化学物質-化学物質と幼児行動
 - 21年度 化学物質と環境・健康

3

研究助成の改善等に向けた取り組み

- ・厚生労働省の研究助成等のあり方に関する省内検討会
 - 評価基準(指標)の見直し・整備
 - 1) 政策等への活用の明確化
 - 2) 効率的な運営
 - 3) 国民へのわかりやすい成果普及
 - 外部研究評価の徹底
 - 研究終了後の追跡調査の実施・公表
- ・公募課題設定前のパブリックコメント実施

4